



議会だより

ハートがふれあう住民自治のまち



神河町
マスコット
キャラクター
「カーミン」

かみかわ

第 69 号

令和 3 年 10 月 13 日



神崎幼・小合同運動会

令和2年度決算	2 ~ 6
議案審議の様子	6 ~ 7
委員会の活動	8 ~ 10
2人が登壇 いっぱん質問	12 ~ 13

令和2年度決算認定

99億6415万円(一般会計歳出)

(一人当たり91万円) 令和3年3月末人口10997人

第102回定例会は、9月2日から29日までの28日間の会期で開催されました。各委員会報告、諸報告に続き、議会から発議2件、町から報告2件、条例制定及び一部改正4件、計画策定1件、交通災害共済組合3件、令和3年度補正予算9件、令和2年度決算認定13件の計34件が提案されました。

決算認定では、監査委員より各会計ともに適切に処理されていることや、昨年度より一定の改善が見られるが、7項目にわたる意見書も付加された報告がありました。慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。

また、2人の議員による一般質問では、行政への提案や方向性の確認、4年間の町行政の振り返り等の質疑応答が行われました。

基金(貯金)残高35億5000万円

※

(一人あたり32万円)

地方債(借金)残高135億3700万円

(一人あたり123万円)

※基金残高の中には、産業廃棄物処理事業特別会計、寺前地区振興基金特別会計、長谷地区振興基金特別会計の基金残高も含まれています。

令和2年度各会計決算認定は、議長・議会選出監査委員を除く8人の議員による決算特別委員会に付託され、9月13日、14日の2日間で審議が行われました。

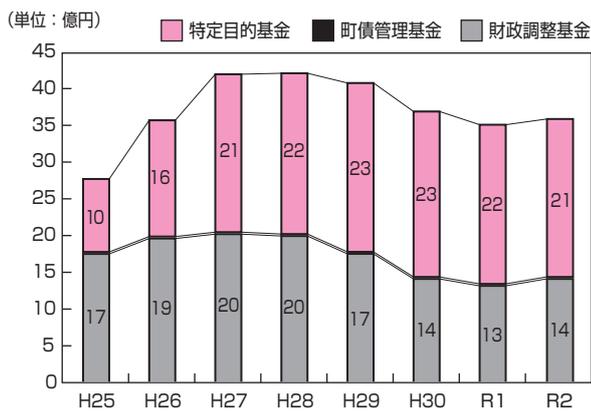
令和3年度神河町一般会計補正予算(第3号)は総務文教常任委員会に付託されました。その補正予算では、5億1957万1000円が追加されました。

主なものは新型コロナウイルスウイルスクワクチン接種委託料や公立神崎総合病院事業会計補助金の増額等で、集中審議しました。

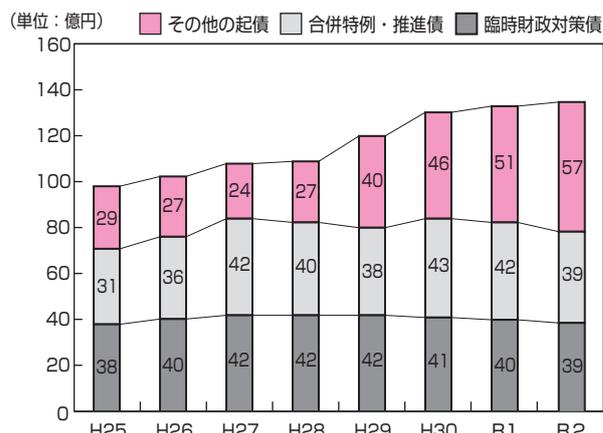
町の財政グラフ

昨年とほぼ同額だが、貯金、借金ともに微増

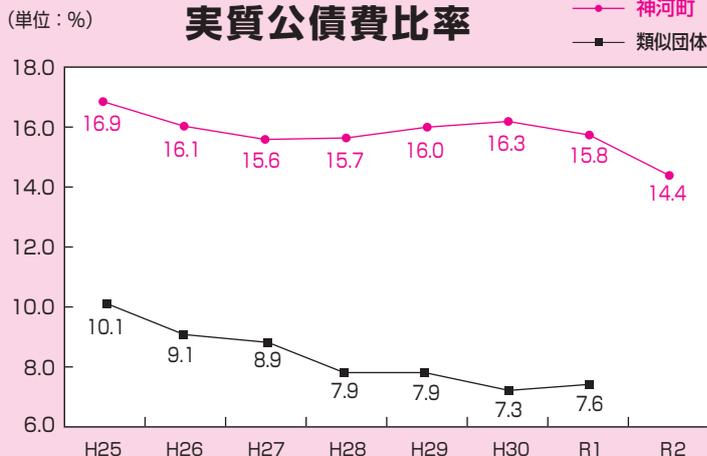
基金(貯金)残高の推移



地方債(借金)残高の推移



実質公債費比率



◆実質公債費比率とは◆

税などの収入に対して借金の返済に使ったお金の割合。

◆神河町の実質公債費比率の特徴◆

合併による旧両町の起債残高の元金償還が多額なため、類似団体より高い水準となっている。この比率を下げるために「公債費負担適正化計画」の着実な実施により改善していたが、徐々に上昇してきた。令和2年度は前年度に続き減少している。今後もしっかりと適正管理していく必要がある。

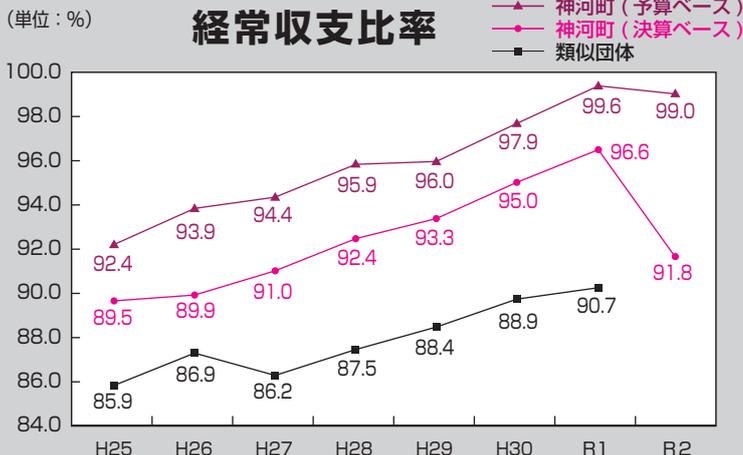
◆経常収支比率とは◆

人件費などの経常的な経費に、税金などの経常的な収入を充当している割合。比率が高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。

◆神河町の経常収支比率の特徴◆

歳入は普通交付税が増加、歳出は義務的経費(人件費・公債費・扶助費)が減少。その結果、昨年度より減少している。今後も、町税、普通交付税の減少が予測される中、高い水準で推移していくと思われる。

経常収支比率



決算特別委員会

9月13・14日開催

主なQ&A

一般会計

歳入

Q 法人町民税の収入未済額が677万3100円と多額である。原因と徴収の見込みは。

A 新型コロナウイルス感染症にかかる徴収猶予の大手企業1社分が未納であったが、本年6月末に納付済みである。

歳出

Q コミバス運営事業の決算額が1億1418万2000円で、対前年度約1100万円増額している。一方で路線バスコミュニティ料金化事業(新野駅と神崎総合病院、生野駅等)を結ぶ路線は344万7000円で対前年度比約90万円の減額となっている。この要因は。

A コミバス運営事業は、神姫グリーンバス(株)と契約している運行キロ当たり単価の上昇分が約600万円、乗車人員が減ったことによる運賃収入の減が約500万円で合わせて約1100万円の増額となった。

路線バスコミュニティ料金化事業は、乗車人員が前年度比86%であったため減額となった。

Q セキュリティポリシー作成委託料379万円の内容は。

A これまでのコンピュータのセキュリティは庁舎内のアクセスを前提としていたが、コロナ禍による在宅勤務等庁舎外からのアクセスが必要となり、改めてセキュリティポリシーを作成した。

Q 町長の公用車を購入しているが、更新の期間は何年か。購入車両の車種と金額は。

A 従前の車両は11年経過し、走行距離は

20万キロを超えていた。更新時期の目安は走行距離20万キロとしている。車種はトヨタクラウン、金額は647万5559円である。

Q 大阪湾広域廃棄物処理立処分場整備建設委託金14万8000円、大阪湾広域臨海環境整備センター建設負担金101万3000円が支出されているが、今後も継続するのか。期限があるのか。

A 大阪湾広域臨海環境整備センターの第2期計画が令和14年度まで、埋立地の護岸整備等の経費負担を求められているが、神河町から持ち込み実績がないので、計画が確定した時点で精算され返金される。その後の第3期計画には参画しない考えである。

Q 「新しい生活様式」へのスマート農村促進事業において、コロナ対策地方創生臨時交付金を活用し、農業用ドローン

やリモコン草刈機を導入したが、農業団体の意見や反響は。

A 一番多く購入されたのが自走式草刈機で好評であった。(株)中村営農ではドローンを購入され、農薬の散布等について農会長協議会や担い手協議会の研修会を開催され、多くの方に見てもらい、いい反響が出ている。

Q グリーンエコリーンの赤字が令和2年度単年で5600万円を超えている。多額の赤字となった要因とグリーンエコリーンの指定管理者からは町にどのような要望が出されているか。

A 赤字の最大の要因はコロナ禍である。グリーンエコリーンのユーザーは学校団体や地域団体が多く、コロナ禍の影響で団体利用人数が大幅に減った。

また、開業後40年が経過し施設の老朽化が目立つ。令和2年度の修繕費は、指定管理者(神姫バ

スグループ共同事業体)が約200万円、町が3180万円(工事費含む)を支出しており、施設の老朽化による修繕費も赤字に影響している。指定管理料の増額を要望されているが、現状のままでは次期指定管理者の公募を行っている。

Q 避難所感染対策整備事業で購入した備品の種類、数、保管場所は。

A ダンボールベッドは25台で、町の指定避難所の越知谷アクティブセンター、神崎小学校校体育館、寺前小学校校体育館、旧南小田小学校校体育館、センター長谷に各5台を配備している。間仕切りは145個で、越知谷アクティブセンターに24個、神崎小学校校体育館に35個、寺前小学校校体育館に24個、旧南小田小学校校体育館に16個、センター長谷に6個、神河中学校倉庫に40個を配備している。備蓄物資収納倉庫は、越知谷アクティブセンター、神

崎小学校、寺前小学校の3か所に設置した。

Q スポーツ大会出場を応援する横断幕の設置場所について、役場本庁以外の掲示場所の検討は行なったか。予算審議の際も意見したが。

A 役場本庁舎以外に貝野橋付近、播但道神崎南ランプ付近の電光掲示板に近畿大会出場者まで掲示している。状況によっては、公立神崎総合病院、神崎支庁舎（フェンス等）も掲示場所として検討したい。

Q 平成30年度の決算認定の際に、多額の不用額を計上することのないように事務事業の執行管理を厳密に行うように申し入れた。町長からは適正な執行をする旨回答を得た。しかし、令和2年度決算では不用額の多さ（3億1636万9826円）が目立っている。減額補正しその財源を他

の事業に充てることも可能である。2年前の申し入れが職員に伝わっているのか。

A 予算は残すことがないよう心掛けてきたが、今回の指摘を受け、改めて反省し適正に対処する。

Q 経常収支比率の中の人件費比率が前年と比較し高くなっているのは、会計年度任用職員の賃金が物件費から人件費に変更になったことが原因と思う。一方で、一般職員の人件費比率は前年度より低くなっている。

新聞報道では兵庫県の西播磨管内で神河町職員の期末・勤勉手当が一番高いという新聞の見出しがあったが、この人件費比率の率をどのように見ればよいのか、どのような数値が適正なのか研究してほしい。

A 神河町職員の期末・勤勉手当が一番高いという新聞の見出しがあったが、記事の最後に平

均年齢が他市町に比べ一番高いと記載されていた。給与は、国家公務員の行政職給料表を適用しており、平均年齢が一番高ければ給与平均額も一番高くなる。しかし、町民の皆様の見方は厳しいことを肝に銘じ今後の人事管理、給与全般の管理に努める。

介護療育支援事業特別会計

Q 障がい者雇用に熱心に取り組んでいる企業とのキャリアガイダンス（就職指導）を実施し、本人、家族と企業の双方に理解を求めると記載されていたが、何か見込みがあるのか。

A 身近なところに実習先や雇用先が少ないのが課題である。神崎郡自立支援協議会とケアステーション神崎が共同で郡内のキャリアガイダンスを令和3年度に実施したいと計画している。

介護保険事業特別会計

Q 神河町の介護関係の各施設において、施設入所、施設サービスの待機者数はどのくらいか。受け入れの定員を割っているのは介護職員不足で受け入れが出来ない状況か。

A 施設入所待機者は、延べ150人前後で推移している。あやめ苑は26床の増床をされたが、介護職員不足でオープンできていない。

土地開発事業特別会計

Q しんこうタウンは現在54世帯で、小学生以下の子どもが41人もおられる。今後の土地開発も含め、町の分譲地には公園や公民館など最低限の施設が必要と思うがどうか。

A 公民館は用地を地元が全額負担、建物は3割負担という原則がある。負担が大きいとの理由で建設は見合わせた。公園は区内アンケートを取ったが、遊具等のメ

ンテナンス費用を憂慮し、建設希望者が少なかったと報告を受けた。その後、地元の声がまたあがってくるようなら、再度しんこうタウン区長と相談する。

産業廃棄物処理事業特別会計

Q 埋立て処分地の残量が少なくはなっている。地元との協議の進行状況と今後の計画は。

A 処分地は、ほぼ満杯状態である。今年4月からガレキの持ち込み量を1トン以内に制限している。この運営方法を鍛冶区・大河区とも同意していただいた。今後、新たな産業廃棄物処理場を設置しようとする、地元合意は当然として、施設整備計画、地質調査、生活環境調査等、ハードルの高い手続きが必要である。慎重に検討したい。

決算に対する監査委員の主な意見

監査委員 清瀬 茂生 小寺 俊輔

令和2年度全会計について、7月8日から28日の間の6日間で各会計に対する決算審査を行い、決算計数等、いずれも法令に準拠して適切に処理されていることを認めました。

なお、下記の点について改善はされていますが、今後も常に留意して取り組むべき事項であり、特に意見しました。

- ①契約事務を行うに当たっては、競争性、経済性、公平性及び透明性の確保に努められたい。
- ②補助金交付団体の会計処理は、要綱に基づいて適正に行うこと。あわせて各種補助金の成果を常に検証し、内容によっては補助金額の見直しも検討されたい。
- ③各課提出の収支見込調書の精度を高め、適正な資金運用に努められたい。
- ④内部統制システムの運用の徹底を図られたい。
- ⑤職員の健康管理面から、超過勤務が常態化しないよう適正配置や事務分掌に十分な留意を払われたい。
- ⑥備品管理台帳の精度を高め、適正な財産管理に努められたい。
- ⑦各課における窓口での現金の取扱いについては、公金取扱マニュアルに基づき、事故を防止されたい。

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決・認定した議案等◆

発議番号	件名
第1号	神河町議会会議規則の一部を改正する規則制定の件
第2号	神河町議会基本条例の一部を改正する条例制定の件
報告番号	件名
第6号	令和2年度(第23期)株式会社神崎フード経営状況報告の件
第7号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告の件
議案番号	件名
第89号	神河町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例制定の件
第90号	神河町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定の件
第91号	神河町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第92号	神河町地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第94号	兵庫県市町交通災害共済組合の解散について
第95号	兵庫県市町交通災害共済組合の解散に伴う財産処分について
第96号	兵庫県市町交通災害共済組合規約の一部変更について
第97号	令和3年度神河町一般会計補正予算(第3号)
第98号	令和3年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算(第2号)
第99号	令和3年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
第100号	令和3年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
第101号	令和3年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
第102号	令和3年度神河町土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
第103号	令和3年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算(第2号)
第104号	令和3年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計補正予算(第1号)
第105号	令和3年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第2号)
第107号	令和2年度神河町介護療育支援事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第108号	令和2年度神河町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第109号	令和2年度神河町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第110号	令和2年度神河町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第111号	令和2年度神河町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第112号	令和2年度神河町訪問看護事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第113号	令和2年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計歳入歳出決算認定の件
第114号	令和2年度神河町寺前地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第115号	令和2年度神河町長谷地区振興基金特別会計歳入歳出決算認定の件
第116号	令和2年度神河町水道事業会計決算認定の件
第117号	令和2年度神河町下水道事業会計決算認定の件
第118号	令和2年度公立神崎総合病院事業会計決算認定の件

◆賛否の分かれた議案◆

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
					安部	三谷	欠番	小寺	吉岡	小島	欠番	藤森	藤原	栗原	澤田	廣納
第93号	神河町過疎地域持続的発展計画の策定の件	7	2	可決	○	○	-	○	○	○	-	×	×	○	○	-
第106号	令和2年度神河町一般会計歳入歳出決算認定の件	8	1	認定	○	○	-	○	○	○	-	×	○	○	○	-

○は賛成、×は反対です。12番の廣納議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

3番、7番は欠番となっています。

議案審議

発議

〔議会会議規則の一部を改正する規則制定の件〕

これまで明確でなかった欠席事由について、公務、傷病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由に改正することが主なものです。

条例の制定

〔過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例制定の件〕

令和3年4月1日から新過疎法が施行され、本町が同法に基づく過疎地域として公示されました。これに伴い、条例を制定するものです。

新過疎法では、特別償却設備である家屋及びその敷地・機械・装置に対して課する固定資産税を創業開始から3か年度に限り課税免除とします。

計画の策定

〔過疎地域持続的発展計画の策定の件〕

新過疎法の施行に伴い、過疎地域持続的発展計画を策定するものです。計画では、地域の持続的発展のための基本方針、目標等を掲げており、計画の期間は、令和3年度から5年間となります。

兵庫県市町交通災害共済組合の解散について

近年、交通災害共済への加入人員が減少しており、事業運営は厳しい状況です。行政が実施する事業としては、一定の役割を終えたとの判断から解散することになりました。

解散に伴う財産処分については、構成市町の分配は均等割で3割、累積加入人員による分配を7割とし、町への分配額は、3012万7003円です。この分配金は、交通安全施策等に使用することを検討しています。

報告

〔令和2年度（第23期）株式会社神崎フード経営状況報告の件〕

総売上は13億9719万円で、前期より1億2437万円減ですが、純利益は448万円の8期連続の黒字となりました。売上減の主な要因は、コロナ禍により消費が大きく減退したことです。

道の駅「銀の馬車道・神河」は、緊急事態宣言に伴う休業等で、売上は前年度より363万円の減となりました。利益剰余金の配当は一株500円で、町の持ち株830株に対し41万5000円の配当がありました。

補正予算

〔令和3年度一般会計（第3号）〕

歳入歳出それぞれ5億1957万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額を83億8274万8000円とするものです。歳入は、地方（普通）交

付税が3億6492万6000円の増額。歳出は、財政調整基金、公共施設維持管理基金積立金、公立神崎総合病院事業会計補助金の増額等によるものです。

〔令和3年度介護保険事業特別会計（第2号）〕

歳入歳出それぞれ56万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額を15億274万8000円とするものです。

スマートスピーカーを活用した高齢者見守り事業等新たな地域支援事業やNPO法人ゆめ花館の高齢者の生きがいづくり・居場所づくり事業補助金の増額等によるものです。

令和2年度一般会計決算認定

反対討論

藤森 正晴

仏作って魂入れず…

決算への改善は評価するが、その内容はどうかだつたかである。特に、新型コロナウイルス対策事業は迅速に行われたのか。本当に困っている人たちへの対策ができたようには思えない。町独自の魅力策が発信できなかった。

過疎対策で実施した事業も、若者雇用には繋がらないと思う。人口減少は避けられない。特効薬がないでは済まされない。

決算審査委員会では、質疑の詳細内容について明確な回答が返ってこない。まさに「仏作って魂入れず」である。一生懸命良い仕事をしながら一番重要な部分が欠けているということである。信頼も薄れ確信が持てない。課参事（前課長）の指導はできているのか。課参事制は必要なのか。



スマートスピーカー

常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

総務文教常任委員会

8月18日開催

教育課

●神崎郡3町で運営している病児病後児保育施設の7月末の登録者数は91人で、うち神河町は37人です。4月からの利用実績は17人です。

●学校通信ネットワーク整備事業は、担当教諭がリモート会議を開催し、教職員の研修、授業で活用するソフト、リモート学習の実施要領等の整備について協議しています。また、タブレットを利用した授業にも取り組んでおり、神崎小学校と寺前小学校の教室を繋いで行ったリモート交流授業では、一度に120人の児童のリモート学習ができるかテストを行いました。学校と家庭を繋いで

双方向でリモートする場合、約700人が一斉に通信することになり、通信容量に制限があるため不可能なので、学校毎に時間帯を区切る、学年単位の時間割を組む等具体的な実施方法を考える必要があるとのことでした。

●福本遺跡の瓦窯は、今までに5基確認できていますが、未発見のものも存在する可能性があるとの調査を実施しました。その結果、2基の瓦窯が存在する可能性があることが分かり、本年度に発掘調査を行うとのことでした。

●新型コロナウイルス感染症対策として、図書除菌機を中央公民館と神崎公民館にそれぞれ1台配置しています。



図書除菌機

税務課

8月時点で、県下12町のうち、神河町を含めた3町だけがスマートフォンの導入を完了しています。コロナ禍で在宅での決済や非接触による納付が可能で、納税者からの要望も多くなっています。導入に必要なシステム改修費の見積を徴取し、費用対効果を勘案して導入時期等の検討を行うとのことでした。

会計課

●令和3年7月末の現金等保管総額は、55億8400万133円です。7月末の一時借入金はありません。一時預貯金は7月末で9億円、8月18日現在で8億円となっています。

●5月にJA兵庫西から提案を受けた指定金融機関事務取扱手数料の見直しは、6月8日に提案どおり受け入れる旨の回答をしています。現行、年

総務課

70万円の手数料が、令和4年度から5年度にかけて2段階で約500万円に改正されます。今後、契約の締結、手数料の件数の数え方や振込手数料の削減方法について検討し、協議を行うとのことでした。

●行財政改革推進委員会を10月に開催する予定で、委員の選考と就任を依頼しているとのことでした。

●「大規模災害発生時における地方公共団体の業務継続の手引き（平成28年）」で、非常用電源は72時間稼働可能なものにするのが求められています。大規模災害発生時、災害対策室・各種証明書発行電算機等の電源確保は重要です。現在、本庁舎に設置している非常用発電機は8時間程度しか稼働しないので、72時間対応できるものに更新するため、令和3年度に設計委託、令和4年度に更

新工事を予定しています。●CATVの特別番組地域のたからものを制作するため、町内40集落の神社・仏閣、固有の行事等を2年間かけて取材する予定です。また、CATV・インターネットに関するアンケートも区長会に依頼し実施するとのことでした。

Q 各選挙の投票率の放送で、1回目は各投票区の地区名を放送するが、2回目以降は地区名を省略している。投票への意識づけの観点から地区名を毎回放送すべきと住民から意見があったが、住民からの声であり対応したい。放送は長くなるが、選挙を意識していただく方が大切なので、方法を検討する。



民生福祉常任委員会

8月16日開催

← 公立神崎総合病院

Q 休日夜間業務手当の支給に関する規則を新設されるが、これまでは条例が制定されていた。新たに制定する規則と内容の違いは。

A 既存の条例では、休日業務は午前8時30分から午後5時までの勤務が対象である。新設する規則では、第3条で感染症ワクチン接種業務に係る手当の規定を新たに設け、2時間30分、3時間30分等短時間勤務にも対応できるようにした。

Q 中期経営計画の中で、レントゲン、CT、MRIなどの検査を積極的に行うとあるが、患者にすれば診療費が高つく懸念がある。患者が納得できる説明が必要だがどうか。また、予約なしで受診日当日の胃力メラ検査はできないものか。

A 当院は適切に処理している認識だが、現況は退院のときに「レントゲンも取らず退院させられた」等何もしてくれなかったという声が多い。患者にもしっかりと説明し、積極的に検査をする方向である。予約なしの胃力メラ検査は患者目線に立ちできるだけ進める方向で検討する。

← 健康福祉課

Q ほがらか教室（認知症フォーロー教室）の内容は。

A 認知症の症状をチェックするタッチパネルを使い点数化し、点数が一定基準より低い方（頭の機能訓練、頭の体操をすれば元気になれる方）を対象とした事業である。週1回ナースボランティアによる頭の体操と体の体操、笑いが出る楽しい催しもあり人気がある。
ほがらか教室の対象にならない方には、いきいき

き倶楽部（認知症予防教室）を月2回開催し、自由参加としている。



認知症チェック タッチパネル

Q 16歳以上の現役世代を含む年齢層のワクチン接種率向上対策は。また、金曜日の夕方接種と土曜日接種の枠を増やしてもらえないか。

A 接種期間を9月末までと考えていたが、回数や人数を減らした接種体制で期間を延長して予約できる体制が必要である。
若い世代の接種希望日は、翌日は安静にしたいと考えて金・土曜日が多い。金曜日の接種枠は若干増

やすことは可能である。土曜日の接種は開業医の2人をお願いしているが、200人を超えない範囲での接種とならざるを得ない状況である。日曜接種の取組は公立神崎総合病院と相談する。

← 住民生活課

Q 大雨で8月13日の夜から15日の朝まで県道が通行止めとなり、上小田区、川上区は孤立集落になったのではと思うが、行政はどう対処されたか。

A 24時間雨量が160ミリを超えた場合、兵庫県土木事務所福崎事業所から連絡が入り、自動的に通行止めになり、アナウンスが義務付けられている。通行止めの処理はしたが実際に何らかの災害が起きたわけではなく、警備員を配置し、地域住民には注意して通行してもらおうよう誘導した。

← 上下水道課

Q 8月に取り組んでいる徴収強化月間の成果は。また、税務課職員も同行されたのか。

A 今まで町外の方（県内在住者）には、電話やがきの通知のみで直接訪問して徴収できていなかったため、8月19日に2班に分けて徴収に行くことにしている。内部組織である滞納整理委員会と関係課（税務課、学校給食担当課等）と滞納状況は情報共有できている。

今回は上下水道課職員で訪問し、上下水道料金以外の滞納がある場合は合わせて完納してもらえよう話をする。

8月19日の徴収実績について、上下水道課に尋ねたところ、8月に3日間で16件訪問した。全納1件、確約書提出3件、残りは留守でチラシの投函を行ったとのこと。

8月10日開催

建設課

Q 深山トンネルでノイズのような電波が発信されているというのは、機械の故障によるものか、あるいは、人為的なものか。

A 人為的なものではなく、トンネル設置受信機の故障によりノイズのような電波が出ている状況である。

Q 急傾斜地崩壊対策事業の取組について、町内には、整備するところが多すぎると思うので、町から県に積極的に申し入れしてほしい。

A 令和3年度で本村区、岩屋区の対策工事が完了予定、鍛冶区は継続して対策工事を行う予定である。他の区からも要望が上がってきており、土木事務所へ要望を行っている。

砂防事業は、現在、3

か所で工事を行っている。高朝田区、山田区、作畑区、本村区、南小田区の5地区でも砂防工事実施の準備を進めている。

地籍課

Q 地籍調査の県営事業対象要件は、災害区域が大きな要素を占めるようだが、災害という考え方の基準を教えてください。

A 県が指定している4区域①砂防指定区域、②急傾斜地崩壊危険区域、③地すべり防止区域、④土砂災害警戒区域に該当するところ。

また、森林経営計画区域等を50%以上含む単位区域も県営事業の対象になる。

地域振興課

Q JA兵庫西から柚子の精、ゆず太くん等向が示されたようだが、町は柚子の生産・加工に

ついてどのような方針を持っているのか。特産品として残していきたいという方向で、JA兵庫西と協議を進めている。



ゆず太くん

Q 高齢者で山を放棄したい方がおられると思うが、町で引き受けて伐採するような試みは考えているか。

A 町に預けたいと意向のあった山は、町で管理を行うところ、森林組合等の事業体に管理をお願いするところに分けて対応していきたい。

町外に居住されている方からも山林の管理ができないため、寄付したいという申し出が近年増え

てきている。町としては、山林の寄付があれば、積極的に受けるという考えである。

ひとまちみらい課

《商工観光業務》

令和2年度に引き続き、年度当初から兵庫県を含む畿圏内に新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発出されたことから、4月、5月、6月の3か月間の観光施設等の入り込み客数は、13万1000人で、コロナ前の令和元年度(22万7000人)と比べ、43%の減となっております。

新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し営業を続けましたが、コロナ禍で観光旅行が敬遠されたこと、また、ゴールデンウィークの悪天候も重なり、観光客が減少したものと考えられます。

Q 寺前タクシー(有)が廃業されてから、寺前駅にタクシーが停まっていけないので、不便な方がおられるのではないかと。栗賀神姫タクシー(株)に日曜日や夜間の運行ができないか相談している。スキー場等への来場者の対応等も含め検討していきたい。

A

Q ハートフル商品券で過去20%上乗せの場合が即完売したが、今回の20%上乗せハートフル商品券は2次まで受付をした。それだけ長引いた要因は。

A 今回、通常の2倍の5000セットを販売したことが、完売に時間がかかった一番の要因だと考えられる。



ハートフル商品券

みなさんの **声** を

町政に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は2人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項	ケーブルテレビ再放送日
12	小島 義次 議員	①認知症の予防と早期発見への普及啓発は ②スマートシティの推進は	11月2日(火) 午後7:00~
13	安部 重助 議員	①町長3期目4年間の行政執行を問う	11月2日(火) 午後8:00~

主な議会日程

11月
2日(火) 産業建設常任委員会
5日(金) 民生福祉常任委員会
8日(月) 総務文教常任委員会

12月
1日(水) 議会運営委員会
7日(火) 第103回定例会
(提案・質疑等)

14日(火) 総務文教常任委員会
(付託議案)

16日(木)・17日(金)
定例会(一般質問)

22日(水) 定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります

本会議等の傍聴について

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、しばらくの間、本会議等の傍聴については、できる限りお控えいただくようお願いいたします。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

認知症の予防と 早期発見への普及啓発は



小島 義次 議員

町長

軽度認知障害の早期発見及び 改善のための予防教室に取り組んでいる

Q 「いきいき倶楽部」、「認知症フォーロー教室（ほがらか教室）」の実施項目や回数は。

A 健康福祉課特命参事「いきいき倶楽部」は予防したい希望者を対象に、神崎支庁舎と大河内保健福祉センターで、頭のトレーニング等月2回実施している。

「ほがらか教室」はタッチパネル式の「物忘れ相談プログラム」を用いて、軽度認知障害の方を対象に週1回開催している。進行を防ぎ、改善・維持が目標で、ゲーム・脳トレプリント・音楽療法等工夫した内容である。

Q 常時参加者の実人数はどのくらいか。また効果の割合は。

A 健康福祉課特命参事「いきいき倶楽部」では、常時参加者は27人で、年間1回タッチパネルで効果判定をしている。参加者はほぼ全員現状を維持している。「ほがらか教室」の参加者は26人で、参加当初と6ヶ月ごとにタッチパネルを用いて詳細な効果の判定、分析をしている。参加者の9割が向上、または維持されている。

Q 軽度認知障害の早期発見簡易テスト「あたまの健康チェック」を導入している市では、65歳以上が無料で自宅で受検できる。対話型で正確な診断ができ、予防への意識啓発に期待が大きい。本町でもこの簡易テストの実施を進めてはどうか。

A 健康福祉課特命参事 当町としては、タッチパネルを用いたスクリーニングを実施している。これは脳機能の詳細分析ができる有意義な検査である。さまざまなスクリーニングを検討していきたいが、今の検査方法を中心に進めたい。

Q 軽度認知障害の早期発見簡易テスト「あたまの健康チェック」を導入している市では、65歳以上が無料で自宅で受検できる。対話型で正確な診断ができ、予防への意識啓発に期待が大きい。本町でもこの簡易テストの実施を進めてはどうか。

A 健康福祉課特命参事 当町としては、タッチパネルを用いたスクリーニングを実施している。これは脳機能の詳細分析ができる有意義な検査である。さまざまなスクリーニングを検討していきたいが、今の検査方法を中心に進めたい。

Q あたまの健康チェックテストは、軽度認知障害の判別を、リモートや電話等の対話でもできる。「健常」「前臨床期」でもこの検査で分かるというものだが。

A 健康福祉課特命参事 何が良いのか考えながら「あたまの健康チェック」の情報ももう少し深く集めていきたい。

Q 「神河町過疎地域持続的発展計画」の提出があったが、これはスマートシティ構想に基づいて作成されたものか。

A 町長 厳密に言えばスマートシティ構想に基づいたものではないが、デジタル技術の活用など一致する思いから過疎計画にも盛り込んでいる。スマートシティ構想の推進は可能か。



タッチパネル画面の例

Q デジタル技術を駆使しながら、安全で住みやすい街づくりを目指していくことが必要と思うが、見解を問う。

A 町長 持続的発展計画には、デジタル活用支援策の展開としてテレワーク・サテライトオフィス・ベンチャー企業の誘致等をあげているが、大容量の通信網の環境整備が大きな課題である。東京と兵庫県を繋ぐ「兵庫情報ハイウェイ」と連携し、デジタル社会を構築していくことが重要である。

Q スマートシティの推進は

A 町長 スマート農業・G I 見守り・役場の手続き等あらゆる分野でICTの活用を進め、スマートシティ構想の推進につなげたい。

Q スマートシティ構想の推進は可能か。

A 町長 スマート農業・G I 見守り・役場の手続き等あらゆる分野でICTの活用を進め、スマートシティ構想の推進につなげたい。

Q スマートシティ構想の推進は可能か。

ひとこと
できるところからデジタル化を

町長3期目

4年間の行政執行を問う



安部 重助 議員

町長

行政体制は適正に
運営していると確信

合併してから16年、県内人口最少の町で、なお人口減少が続いている。行政は絶えず動いており、3期目4年間の行政執行を問う。

Q 職員数、業務量の分担、人員配置は。

A 町長 行財政改革大綱に基づき、普通会計職員数は現在120名である。少ないマンパワーであるがチーム神河として職員一丸となって取り組んでいる。

今後は、地域住民との協働をさらに意識した取組を期待している。

Q 課長、特命参事、副課長、参事の職務権限の違いは。

A 町長 課長は、課を統括する職、特命参事は、特定の業務において町長直轄に指示命令を受け、議会にも出席する職、副課長は、課長及び参事を補佐する職、参事は、課長と副課長の間にある管理職で、課長と同

等の立場で課長を補佐する職である。

Q 職務と責任に応じた給与体系、仕事量の適正配分は、公務員の原点に沿っているのか。

A 町長 給料は、国の制度に準ずる給与体系を採用している。仕事量の適正配分については、町の施策、環境の変化、年度ごとの独自事業等、変化の要因を加味し、課長等へヒアリングを実施し、再任用制度、会計年度任用職員を活用し対応している。国民全体の奉仕者として、公共の利益のために勤務することにより取り組んでいる。

Q 少数精鋭を意識した行政体制と質、限られた税資源の有効活用を意識した行政運営の認識と対応への評価は。

A 町長 第2次行財政改革大綱の中で、さらなる定員管理の適正化の取組方針が示されている。人件費抑制のため、職員数と年齢構成、仕事量のバランスを考慮し、事務事業の簡素化・効率化に取り組み、私自身評価している。

Q 職員の公務推進への士気高揚、幅広い行政対応への知識獲得、多様な人材育成は。

A 町長 多様な経験の蓄積は、人材育成に大きな成果をもたらすものと認識している。幅広い行政対応や知識の習得に県・事務組合への派遣、各種研修への参加等を行っている。神河町独自の施策や人と人をつなぐ行政サービスを行う意味でも人的確保と人材育成が重要と感じている。

Q コロナ禍がもたらしている行政への影響、変化をどのように把握しているか。

A 町長 住民の健康を増進する事業の中止や公民館事業の精選、スポーツ大会の中止等により、住民の健康が阻害されている。飲食店や観光関係は、収入の確保が難しく、生活にも影響が出ている。地域の行事や活動の自粛により地域のコミュニティが成り立たない心配もあり、いろいろな面で悪影響が生じていると認識している。このような状況下であるが、持続可能な神河町にするために、今後も引き続き取り組んでいく決意である。



神河町の司令塔 22名

ひとこと

行政は動いている。
町民は何を望んでいるか？
常に気配りを

まちかどインタビュー

第6回



取材日：9月7日
取材者：栗原廣哉

第6回は、大阪府堺市から神河町岩屋に來られ、蕎麦屋を営んでおられる仲の良いご夫婦からお話を伺いました。

自己紹介をお願いします

私は鹿児島県生まれで、主人は広島県生まれ、大の広島カープファンです。今は、神河町で蕎麦屋を楽しみながら営み、畑を借りて花や野菜を育てています。店が休みになると畑の野菜を土産に、



田口千鶴子さん・和博さん

神河町の良いところは

町のいたるところで花を植え、美しい地域づくりに精を出す優しい人の住む町です。地域の人々の結びつきも強く、マラニックでは力を合わせて盛り上げています。

信条をお願いします

私の信条は、「離せばわかる、いえ話せばわかる生き方」です。距離感にこだわらず、何事もよく話をすれば解決するということを常に思っています。

神河町に望むことは

①定住者増加対策
移住者は何を求めてこの地を選んでいるのでしょうか。神河町で生まれ育った人がまたここで暮らしたいと思わないのはなぜでしょうか。
補助金や助成金？日帰りから連泊で農業、林業体験。本当に神河を好きになってもらうことでしょうか。
私には、窓の外に写る雨、風、雪や雲が日替わりの絵画です。その絵画

を見ながら自作の野菜スープを飲んでみると心が温まります。静かな時間が田舎暮らしの醍醐味です。

②旧栗賀小学校跡地に介護施設を建設

元気なうちに「笑って人生の終わりを迎える話ができる」アットホームな介護施設があったらいいなと思います。

③若者の起業支援対策

堺市には、若者が起業する際に5年間家賃低料金のスペースが用意されています。神河町にも若者起業支援策があればいいなと思います。

町議会に望むことは

10年前とこれからの10年、どこを向いているかよく分かりません。色々な考えを持たれた素晴らしい住民がたくさんおられるので、大変ですが足を運んで住民の声を議会に反映させてください。

あとがき

黄昏時
コロナに負けじと
子らの声

緊急事態宣言が解除されました。新型コロナウイルス感染症を抑えながらの緊張した活動が続いていますが、心の中では少しほっとしたのが本当でしょうか。コロナウイルスが0になれば本当に安心ですが、そこまではまだまだかかりそうです。緊張感と予防の意識化が常態になればウイルスも入るスキがなくなり退散するかも知れません。
対策への意識化のレベルがどうなのかが分かれ目になりそうです。議会だよりの編集も意識化のレベルを高めて、皆様方にできるだけ分かり易く議会の情報を届けていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いします。
(小島義次)

- 広報公聴活動調査
特別委員会
- 委員長 小島 義次
 - 副委員長 吉岡 嘉宏
 - 委員 藤森 正晴
 - 委員 栗原 廣哉
 - 委員 澤田 俊一